



# 2014年3月期 第2四半期決算説明資料

2013年10月18日



<http://www.gendai-a.co.jp> JASDAQ:2411

# C o n t e n t s

---

P2 ..... ・第2四半期 損益計算書（連結）

P3 ..... ・事業の種類別セグメント

## 【広告事業】

P5 ..... ・第2四半期 損益計算書

P6 ..... ・四半期売上高の推移

P7 ..... ・品目別売上高の推移

P8 ..... ・顧客の状況

P9 ..... ・従業員の状況

## 【不動産事業】

P11 ..... ・第2四半期 損益計算書

P12 ..... ・第2四半期 連結貸借対照表

P13 ..... ・第2四半期 連結キャッシュフロー計算書

P14 ..... ・2014年3月期 連結業績予想の修正に関して

## 第2四半期 損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	2Q累計期間	構成比	前年2Q累計期間	構成比	前年同期比
売上高	8,569	100.0%	9,014	100.0%	95.1%
営業利益	887	10.4%	924	10.3%	96.0%
経常利益	889	10.4%	926	10.3%	96.0%
純利益	551	6.4%	585	6.5%	94.2%

- パチンコホール業界では、個人消費低迷の影響を受け、依然として厳しい状況が続いておりますが、大手法人を中心とした積極的な新規出店も見られる等、明るい兆しもありました。
- こうした環境下、主力の広告事業において販売シェアを拡大していくため、取引顧客店舗数の更なる増加に向けて取り組んでまいりました。
- しかしながら、イベント広告規制強化の影響による広告需要の消失を穴埋めするには至らず、結果、当第2四半期の売上高は8,569百万円（前年同期比▲4.9%減）、営業利益は887百万円（同▲4.0%減）、四半期純利益は551百万円（同▲5.8%減）となりました。

## 事業の種類別セグメント

### 当第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	広告事業	不動産事業	調整額	連結
売上高	8,469	99	—	8,569
セグメント利益	1,055	34	▲203	887

### 前年同期比

(単位:百万円)

	広告事業	不動産事業	調整額	連結
売上高	▲472	+27	—	▲445
セグメント利益	▲35	+5	▲9	▲37

- 当第2四半期における売上高は、イベント広告規制の影響もあり前年に対し、売上高では▲445百万円の減収、またセグメント利益も▲37百万円の減益となりました。

---

# 広告事業

---

## 第2四半期 損益計算書（広告事業）

（単位：百万円）

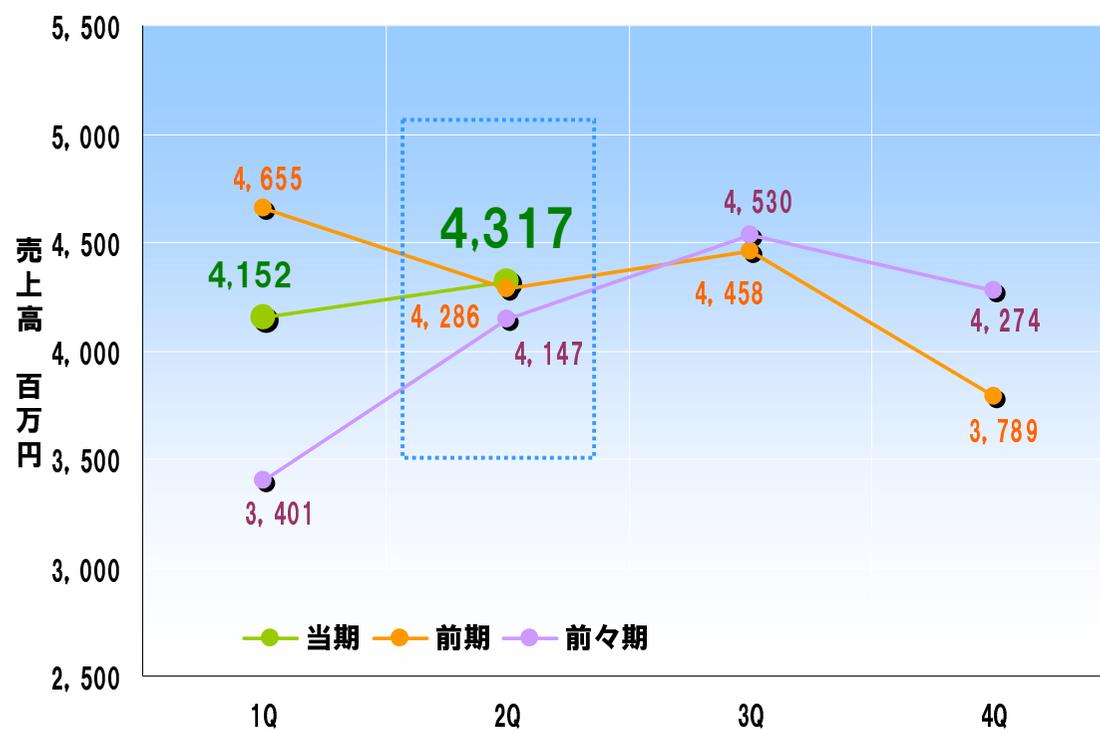
広告事業	2Q累計期間	前年2Q累計期間	前年同期比
売上高	8,469	8,941	94.7%
営業費用	7,414	7,851	94.4%
セグメント利益	1,055	1,090	96.8%

- 当第2四半期連結累計期間のホール広告市場は、昨年7月20日付警察庁丁保発第114号「ぱちんこ営業における広告、宣伝等の適正化の徹底について（通知）」を受け、引き続き広告需要は低迷する状況にありました。
- こうした環境下において、
  - ・大型案件獲得に向けた広告提案活動を強化し、新規出店告知案件や大規模改装案件の受注獲得を推進
  - ・一部遊技機メーカーからの受注を新たに獲得
- これらの取り組みにより、当第2四半期連結累計期間における広告事業の実績は、期初時点での予想を上回って推移いたしましたが、広告規制強化に伴う広告需要の減少を埋め合わせるまでには至らず、売上高は8,469百万円（前年同期比▲5.3%減）となりました。また、売上高減少に伴うマージン減少の影響により、セグメント利益は1,055百万円（同▲3.2%減）となりました。

## 四半期売上高の推移（広告事業）

（単位：百万円）

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期計
<b>当期</b>	<b>4,152</b>	<b>4,317</b>	—	—	—
前期	4,655	4,286	4,458	3,789	17,188
前々期	3,401	4,147	4,530	4,274	16,352

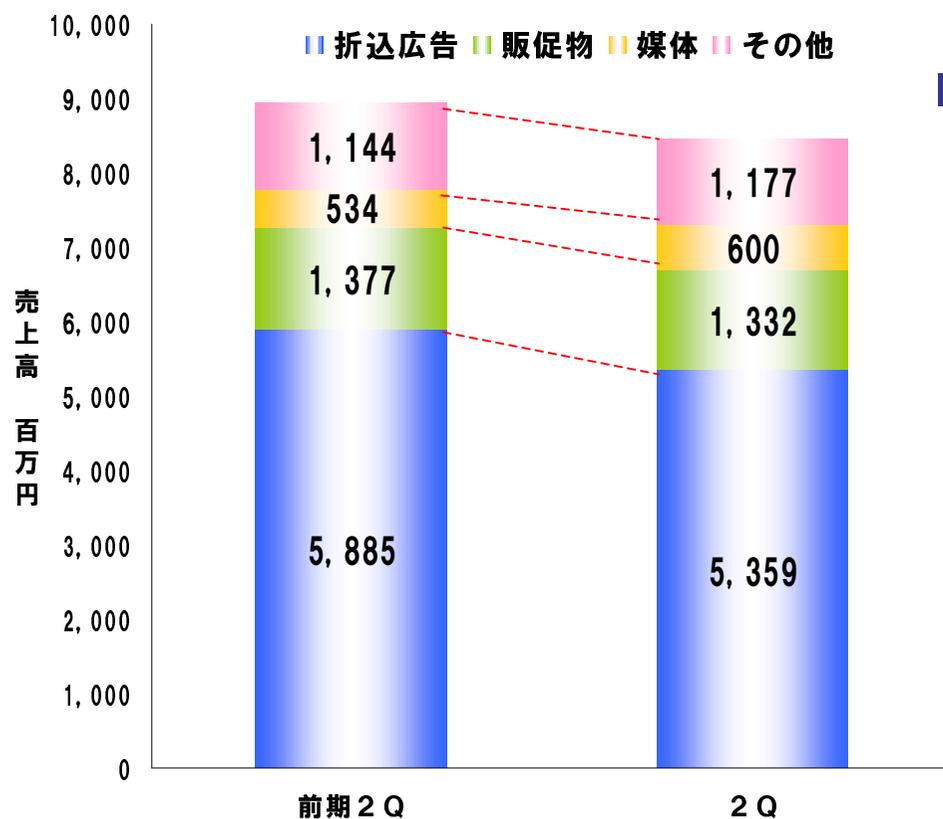


■ イベント広告規制の影響もあったものの、新規出店告知案件の獲得等もあり、前年同期比では増加しております。

## 品目別売上高の推移（広告事業）

（単位：百万円）

		2Q	構成比	前期2Q	構成比	前年同期比
売上高合計	折込広告	5,359	63.3%	5,885	65.8%	91.1%
	販促物	1,332	15.7%	1,377	15.4%	96.8%
	媒体	600	7.1%	534	6.0%	112.3%
	その他	1,177	13.9%	1,144	12.8%	102.8%
		8,469	100.0%	8,941	100.0%	94.7%



■ イベント広告規制の影響もあり、  
折込広告は前年同期比で▲8.9%  
減少しております。

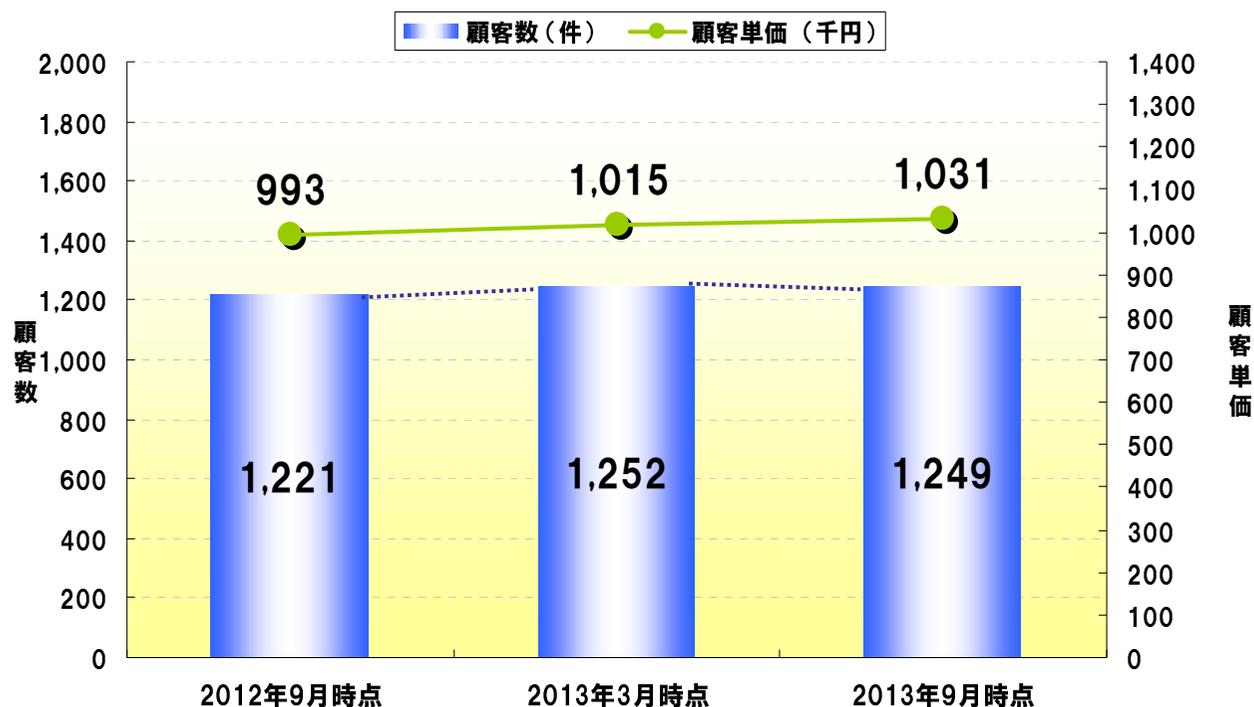
## 顧客の状況（広告事業）

### 顧客単価 & 顧客数推移

- ◆引き続きイベント広告規制の影響はあるものの、新規出店告知案件の獲得等もあり、前年同月比では、顧客単価（+38千円）、顧客件数（+28件）共に増加しております。

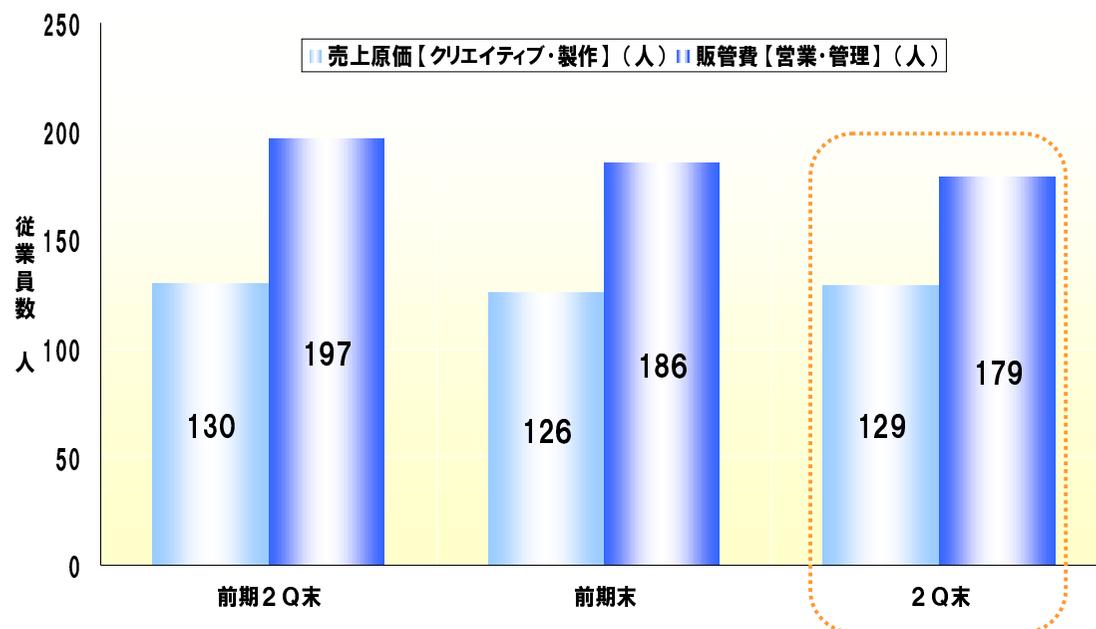
稼働顧客	2012年9月時点	2013年3月時点	2013年9月時点
顧客単価（千円）※1	993	1,015	1,031
顧客数（件）※2	1,221	1,252	1,249

※1：数値は単月実績となります ※2：月額取引50千円以上の取引先を顧客としています



## 従業員の状況（広告事業）

	前期2Q末	前期末	2Q末
売上原価【クリエイティブ・制作】（人）	130	126	129
販管費【営業・管理】（人）	197	186	179
<b>広告事業計（人）</b>	<b>327</b>	<b>312</b>	<b>308</b>



- 前期末より従業員は4名減少しております。

---

# 不動産事業

---

## 第2四半期 損益計算書（不動産事業）

（単位：百万円）

不動産事業	2Q累計期間	前年2Q累計期間	前年同期比
売上高	99	72	136.4%
営業費用	65	43	151.2%
セグメント利益	34	29	120.3%

- 当第2四半期においては、既契約で継続中の賃貸案件2件のほか、4件の賃貸物件仲介案件（26百万円）を成約いたしました。その結果、売上高は99百万円（前年同期比36.4%増）となり、セグメント利益は34百万円（同20.3%増）となりました。

## 第2四半期 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前期末 (B)	2Q末 (A)	差額 (B)-(A)
現金及び預金	4,012	3,815	▲196
受取手形・売掛金	2,094	2,042	▲51
その他流動資産	133	176	43
有形固定資産	861	866	5
無形固定資産	69	43	▲26
投資その他資産	720	869	149
<b>資産合計</b>	<b>7,891</b>	<b>7,814</b>	<b>▲77</b>
支払手形・買掛金	1,146	1,218	72
短期借入金	100	100	0
1年以内返済予定の長期借入金	368	290	▲78
未払法人税等	558	335	▲222
その他流動負債	239	170	▲69
長期借入金	426	330	▲96
その他固定負債	28	26	▲2
<b>負債合計</b>	<b>2,868</b>	<b>2,472</b>	<b>▲395</b>
株主資本	5,001	5,320	319
その他	▲0	1	1
少数株主持分	22	19	▲2
<b>純資産合計</b>	<b>5,023</b>	<b>5,341</b>	<b>318</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>7,891</b>	<b>7,814</b>	<b>▲77</b>

…①納税、配当等による  
現金及び預金の減少

…②長期借入金の減少

…③未払法人税等の減少

…②長期借入金の減少

…④前期末比318百万円の増加

～主な要因～

・四半期純利益551百万円

・利益配当▲232百万円

## 第2四半期 連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2Q	
<b>税引前利益</b>	<b>890</b>	
減価償却費	34	
貸倒引当金の増減額	▲0	
受取利息及び受取配当金	▲1	
支払利息	4	
為替差損益	▲2	
売上債権の増減額	51	
棚卸資産の増減額	▲5	
仕入債務の増減額	72	
その他	▲34	
<b>小計</b>	<b>1,008</b>	
法人税等の支払額	▲553	・・・①前期決算に係る法人税等の納付額▲553百万円
利息の支払額	▲4	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>451</b>	
有形・無形固定資産の取得による支出	▲34	
有形・無形固定資産の売却による収入	1	
投資有価証券の取得による支出	▲204	・・・②投資有価証券取得による支出▲204百万円
敷金及び保証金の差入による支出	▲0	
敷金及び保証金の回収による収入	11	
その他	20	
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲205</b>	
長期借入金の返済による支出	▲174	・・・③長期借入金の返済による支出▲174百万円
自己株式の取得による支出	-	
配当金の支払額	▲232	・・・④前期決算に係る期末配当金の支払▲232百万円
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲406</b>	
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	
現金及び現金同等物の増減額	▲157	
現金及び現金同等物の期首残高	3,981	
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>3,823</b>	

## 2014年3月期 連結業績予想の修正に関して

(単位: 百万円)

	2014年3月期 2Q実績	前回発表通期予想(A) ※2013年4月12日発表	進捗率	今回修正通期予想(B)	進捗率	増減額 (B-A)	増減率
売上高	8,569	16,350	52.4%	16,850	50.9%	500	3.1%
営業利益	887	1,530	58.0%	1,670	53.1%	140	9.2%
経常利益	889	1,530	58.1%	1,670	53.2%	140	9.2%
当期純利益	551	910	60.5%	1,010	54.6%	100	11.0%

### 【修正の理由】

当第2四半期連結累計期間のパチンコホール広告市場は、イベント広告規制の影響を受け、前年同期比では広告需要は低迷する状況にありましたが、大型案件獲得に向けた広告提案活動が奏功した結果、新規出店告知案件や、大規模改装案件の獲得が、期初予想を上回って推移し、また、一部遊技機メーカーからの受注を新たに獲得したこと等により、売上高は、当初予想を上回って着地いたしました。なお、当第2四半期連結累計期間における業績予想については、平成25年9月25日付発表の「平成26年3月期第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正を実施しております。

また、精査中であつた当下期の業績予想に関しましては、現時点では、概ね期初に発表した予想のとおり推移が見込まれることから、結果として、通期の売上高に関しましても、前回発表予想比で+500百万円超過する見込みであります。

営業利益、経常利益及び純利益は、広告事業において、主として売上高の前回発表予想比超過に伴うマージンの超過に加え、デザイン業務の内製等のコスト削減等のプラス要因（計+180百万円）に対して、新たに今回、下期における原価、販売費及び一般管理費の積み上げ（計▲40百万円）を加味した結果、それぞれ前回発表予想比で超過する見込みであります。

---

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・IR窓口 経営企画部 Tel.03-5358-3334